

委員会審査

3月定例会で常任委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長 中野寛之

◆公共施設等整備基金について

問 現在の基金残高と、公共施設整備現状及び遅々として進まない公民館の整備について

答 基金残高は18億円である。合併10周年特別枠の予算などにより、各施設の必要な改修や修繕等には取り組んでいるものの、現在は学校施設の耐震化に集中しているのが現状である。公民館などの整備は、今後行っていくことになるが、更新費用を平準化することから、市民会館建設等の大型事業があると整備が少しづれることがあるかもしれない。

◆請願第36号 伊方原発30キロ圏自治体住民の同意がない再稼働の中止を求める意見書に関する請願書

◆請願第37号 伊方原発再稼働及び原発反対についての請願書

◆請願第38号 伊方原発の再稼働反対を求める請願書
意見1 原発の危険性は誰も皆、認識をしているのは事実であるが、我が国のエネルギー事情や地球温暖化

への影響等を考えると、現段階では不採択とすべきである。

意見2 完璧な避難計画ができ上がらない限り再稼働をするべきではないと考えるので、請願を採択すべきである。

意見3 温暖化対策や代替エネルギーなどは国において考えていただくとして、30キロ圏内の議員としては市民の安全を一番に考えるべきではないかと思うので、採択すべきである。

意見4 3号機に関しては、審査委員会が出した結論以上に我々が判断する材料はない。その結論において適合とされていることを考えると、この請願は不採択とすべきである。

審査結果 不採択

◆請願第40号 公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める請願

意見1 公契約条例というのは全てが入札や工事等の部分だけではなく、自治体がこうあるべきだという姿勢を打ち出すことであると思っているので、採択すべ

きである。

意見2 この公契約条例については、導入している自治体もあるが、導入後に取り止めた自治体もある。それらのことを調査、研究していただき、慎重に検討を進める必要があることから、不採択とすべきである。

審査結果 不採択

◆請願第41号「憲法改正の早期実現を求める意見書」提出の請願について

意見1 憲法の問題であり、今年7月には参議院選挙も行われることから、そこで大いに議論されると思うので、結論を出すのは時期尚早と考え、継続審査を求める。

意見2 この請願は、憲法改正の本身について、具体的に何をどう改正したいのか示されていない。この請願内容では憲法改正を求めるべきかどうか判断するのは困難であるため、不採択としたい。

審査結果 不採択

厚生文教委員会

委員長 二宮 淳

◆第3子以降保育料無料化事業について

問 所得制限を設けず全ての世帯を対象としたことによる財政への影響はどの程度になると考えているのか。

答 市の財政への影響については、当初、年間約4,000万円超の収入減を見込んでいたが、国の保育料無料化が実施されることとなったため、市負担額は約2,800万円となる見込みである。

問 私立の保育所・幼稚園への対応について

答 市が認可している私立の4施設については、公立保育所と同様、施設型給付による適用を受けることとなるが、無認可の施設については、この制度の適用とならない。

◆学校における教材備品購入事業について

説明 大洲市子ども読書活動推進計画に基づき、学校における子ども読書活動を推進するため、通常予算に加え小中学校で合わせて400万円を5年間計上するもの。



伊方発電所（長浜町榎生）